



# チョークで復興エール

JR天ヶ瀬駅の黒板にイラスト

2020年7月  
豪雨

## 被災後の温泉街に通う佐藤さん(日田市)

【日田】日田市天瀬町でJR天ヶ瀬駅の黒板に描かれたチョークのイラストが住民に好評だ。作者は昨年7月の豪雨災害をきっかけに、天ヶ瀬温泉街へ通い続ける同市中心部の自営業佐藤日出美さん(54)。「復興」をテーマに住民の表情や地域のある独特のタッチで表現し、被災者から「励みになる」との声が寄せられる。

日田市のJR天ヶ瀬駅前の黒板に描かれたチョークのイラストが住民に好評です。



天瀬の復興イラストを描き続ける佐藤日出美さん(左)。阿部信明天ヶ瀬温泉旅館組合長(右)は「旅館開の給が楽しみ」と話す。佐藤日出美さん提供、日田市天瀬町のJR天ヶ瀬駅

## 「気持ちに花を」住民らモデルに

①昨年7月、日田市天瀬町の天ヶ瀬温泉街で、何が起きたか。

豪雨災害

②イラストの作者は、天ヶ瀬温泉街へ通い続ける日田市の佐藤さんです。佐藤さんのイラストのテーマは何でしょう？

復興

③災害ボランティアとして家屋の泥出し作業を手伝っていた佐藤さんは、どんな思いでカラフルなイラストを描き始めたのでしょうか？

「彩りで人の気持ちに花を咲かせられたら」

④趣味で絵本を作ることある佐藤さんは「自分にできることで大好きな天瀬を元気づけたい」と話しています。皆さんの大好きな場所はどこですか。何かできることはありますか。話し合ってみましょう。

2021年5月12日付  
大分合同新聞 15面